

# 次の大地震はいつ起きる?



港北区防災大使のシュウベイです！  
今回は「地震への備え」について、  
皆さんと一緒に考えたいと思います。



## 防災大使と考える わが家の備え



皆さん、9月1日は  
何の日か知っていますか？  
正解は「防災の日」です。

2023年9月1日  
関東大震災から100年の節目を迎えます

1923(大正12)年に発生した関東大震災では、死者・行方不明者が10万人以上に上り、日本の自然災害史上、未曾有の被害となりました。震源域の真上に位置した神奈川県内の被害は特に大きく、市内では約35,000軒の住居が被害に遭い、約26,600人が犠牲となりました。



地震発生直後の関内駅付近の様子



大綱橋付近の地割れの様子

過去の震災を教訓に、  
このような惨禍を  
二度と繰り返さないよう、  
一人ひとりが  
災害に備えましょう。  
「自助」・「共助」が  
大切です。



### 大地震は また起こる!?

震災は過去の出来事ではなく、近い将来にまた起こる可能性が高いとされています。自分自身や家族の命を守るため、一人ひとりが日頃から災害に備えることが何より重要です。

いつ起こるか  
分からないからこそ、  
しっかり備えておこう!



### 横浜市において今後30年間に震度5弱以上の 揺れに見舞われる確率(2021年3月時点)

震度	5弱	5強	6弱	6強
確率	99.6%	86.0%	38.1%	5.8%

出典：「全国地震動予測地図2020年版 地図編」地震調査研究推進本部(2021年3月26日公表)

### 忘れがち?手が回らない? それでも重要! 子育て中の災害対策

毎日が慌ただしい子育て中。「子どもの災害対策」がつつい後回しになっている家庭もあるのではないのでしょうか。災害発生時の環境の変化は、子どもにとって大きなストレスになり得ることに加え、おむつやミルク等の救援物資はすぐに供給されるとは限りません。災害時に慌てないように各家庭での対策をお願いします。

#### 子どもの非常用持ち出し袋を 用意しよう

- 準備する物の例
- 母子健康手帳
  - 紙おむつ
  - お尻拭き
  - ミルク
  - 哺乳瓶
  - 離乳食
  - お気に入りのおもちゃ1個



子育て中の皆さん、  
毎日お疲れさまです!  
おむつのサイズや、  
ミルク・離乳食の賞味期限も  
確認しておくで安心です。

### わが家の 災害対策を見直そう

自宅の災害対策が十分か確認してみませんか。備蓄や家具の転倒防止等だけではなく、家族で事前に災害発生時の行動について話し合い、対策することも重要です。

僕も、水や食料、  
非常用トイレを自宅に  
1週間分備蓄しています。  
「もしも」の時を想定して、  
準備しましょう。

特に水は  
1人1日あたり  
3L必要です!



1週間(最低3日)分の備蓄



家具の転倒防止(固定)



災害発生時の行動を決めておく



### 市の補助金制度を利用しよう!

#### 自宅の耐震化

市では1981年以前に建てられた個人所有の木造住宅の耐震診断を、無料で実施しています。改修が必要な場合に耐震改修費用の一部を補助しています。(その他条件あり)

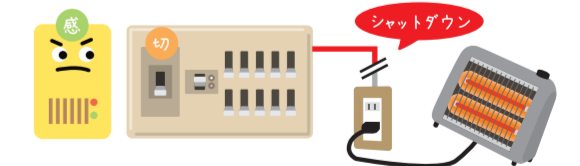
☎ 建築局建築防災課 ☎ 671-2943 ☎ 663-3255

地震に強い家、  
感震ブレーカーがあると  
安心だね。



#### 感震ブレーカー

大きな揺れを感じると電気を自動で遮断する感震ブレーカーの代金の一部を補助しています。



☎(公社)横浜市防火防災協会 ☎ 714-0929 ☎ 714-0921

地震はいつ起こるか誰にも分かりません。  
いざという時のために、  
日頃からの「防災の備え」が大切です。  
関東大震災から100年を契機に、  
防災意識を高めましょう!

区ウェブサイト  
防災大使の動画を公開中

